



ササ刈りとともに土地が掘り返されたとされるチセヌプリスキー場。3日

国定公園内 無許可で掘る

蘭越のスキー場 道が指導方針

【蘭越】町瀨里地区のチセヌプリスキー場を運営するJ&Tトレディンク（ニセコ町）がゲレンデを無許可で掘り返し自然公園法に違反したとして、後志総合振興局は同社を近く文書で指導する方針を固めた。同スキー場はニセコ積丹小樽海岸国定公園内にある。

（平田博治）



運営会社「ササ刈りした」

同振興局によると、同社 下旬、現場を確認したところからコースの草刈りの申請 ろ、重機でゲレンデ下方向があり、これを許可。先月 分の長さ400m、面積0

・46畝にわたってササが刈られていたが、一部で土地が掘り返されていたため作業中止を求めるとともに、土砂の流出を防ぐため掘り返した部分をブルーシートで覆うよう指示し

た。
ゲレンデ脇の登山道も掘り返され、判別できない状態になっていた。

ゲレンデは高さ20mほどのササで覆われているが、同振興局環境生活課は「ササ刈りという範囲を逸脱した行為」と話している。指導内容については今後詳細を詰めるという。自然公園法によると、無許可で土地の形状変更を行うことは禁じられている。

同スキー場は16・7畝で4コース。長く町営だったが、2013年末から営業者を休止し、営業者を譲渡された同社が今冬、営業者再開していた。周辺の森林を含め道有地で、道と同社は賃貸借契約を結んでいる。同社は「スキー場の整備として必要だからササ刈りをしたが、土地の形状変更につながる」と考えていなかった」と話している。